

## 日本地球惑星科学連合 2012 年大会 大気化学セッションのご案内

### 日時

2012 年 5 月 21 日(月)～22 日(火)

【口頭発表】 5 月 21 日 15:30～17:00, 22 日 9:00～17:00

【ポスター発表】 5 月 21 日、22 日両日とも、17:15～18:30 (コアタイム)

※21 日 9:00～22 日 19:00 まで掲示可。21 日に取り外す必要はありません。

### 場所

幕張メッセ 国際会議場 (〒261-0023 千葉市美浜区中瀬 2-1)

【口頭発表】201B

【ポスター発表】2 階・コンベンションホール

### セッション概要

対流圏および成層圏の化学・輸送・物質循環に関する研究発表を中心に募集する。バックグラウンド大気から都市大気、モデリング・観測・人工衛星データ解析・実験室的研究、ガス・エアロゾル研究全てを対象とする。大気化学研究会を中心として開催するが、共同開催の各学会等における大気化学関連の発表や分野の境界領域に位置する発表も大いに歓迎し、広い視野から大気化学を議論したい。2012 年大会では、エアロゾルをキーワードとした研究発表、すなわち多圏（陸/水/人間圏等）からみたエアロゾル、エアロゾルと気候、エアロゾルと健康影響、エアロゾルの新しい観測技術などを特に歓迎する。

### 注意事項

#### ○口頭発表について

- ◎発表 12 分 + 質疑応答 3 分の合計 15 分です。
- ◎パソコンの用意はございません。ご使用の際には、発表者ご自身でご準備下さい。
- ◎液晶プロジェクターには切り替え器が付属しており、次発表者は待機可能となっておりますので、次発表者は直前の講演の間に PC の接続を済ませて待機するようにして下さい。

#### ○ポスター発表について

- ◎コアタイムは 5 月 21 日、22 日両日とも、17:15～18:30 です。両日ともご発表ください。
- ◎ポスターは 5 月 21 日 9:00 から 22 日 19:00 まで掲示できます。21 日に取り外す必要はありません。
- ◎多くのポスター発表者の方々には、21 日 16:00-17:00 にポスター 3 分口頭講演の時間が設けられています。講演者交代の時間も考慮してご講演ください。パソコンはご自身でご準備下さい。講演の順番はポスター発表のプログラムに従います。
- ◎海外からの参加者が多く見込まれます。ポスター作成の際、タイトル、結論、グラフや表の単位などは、可能な限り、英語でも表記されますようご協力をお願いします。
- ◎のべ 1 時間程度ポスターをご説明下さい。説明時間をポスターに記入しておくことを推奨します。
- ◎ボードサイズ：幅 90 cm × 高さ 210 cm
- ◎掲示器具：プッシュピン（会場に準備しております）

## その他

### ○参加登録について

参加登録がまだお済みでない方は、下記サイトをご確認の上、**連合ログイン画面**よりお申込ください。

・事前参加登録締切：2012年5月7日(月)17:00 JST

<http://www.jpogu.org/meeting/registration.html>

(以降は当日、会場での登録となります。当日登録は込み合うことが予想されますので、必ず事前登録をお済ませください。)

なお、参加登録および予稿原稿投稿料の決済状況は下記ログイン画面のシステムメニュー“**決済状況確認**”ボタンより確認できます。

<https://secure.jtbcom.co.jp/jpogu/>

### ○コンビナーからのお願い

極力アンケートにお答え下さい。

大気化学研究会運営委員会は、より良いセッション運営ならびにプログラム編成を常に目指しております。ぜひ、今回のセッションについてのご意見・ご感想をお聞かせください。ご提案も歓迎しております。あなたのご意見が次の研究会(大気化学討論会・連合大会大気化学セッション)に反映されます!

## コンビナー

大気化学研究会運営委員 プログラム委員： 入江仁士、斉藤拓也、笠井康子、小池真、林田佐智子

大気化学研究会運営委員 連合大会プログラム委員： 入江仁士、斉藤拓也

## Atmospheric Chemistry session in JpGU Meeting 2012

### Date and time

May 21 (Mon.) – 22 (Tue.), 2012

<Oral> May 21, 15:30-17:00; May 22, 9:00-17:00

<Poster> On both days, 17:15-18:30 (core time)

\*Posters can be displayed from 9:00 on May 21 to 19:00 on May 22. No need to remove them on May 21.

### Venue

International Conference Hall, Makuhari Messe

(2-1 Nakase, Mihama-ku, Chiba-city, 261-0023, Japan)

<Oral> 201B

<Poster> Convention Hall on the 2<sup>nd</sup> floor

### Overview of the session

This session provides a forum for the presentation of the broad spectrum of tropospheric and stratospheric chemistry, including various research topics (air quality and climate), approaches (modeling, field measurements, satellite data analysis, and laboratory studies), and species (gas and aerosol). This session also provides an opportunity for discussing possible future collaboration with other research fields relevant to atmospheric chemistry. In the 2012 JpGU meeting, we would especially welcome presentations on aerosols, such as their impacts on climate, health effect, new measurement technology, and atmosphere-biosphere-ocean coupling through aerosols.

### Remarks

#### <Oral>

Each presentation has 12-min talk and 3-min discussion (15-min in total). For oral presentations, basically, speakers must use a projector provided at the venue and their own laptop computer (for single-screen projector). We will only accept PowerPoint presentations. Please connect your computer to the projector and confirm the proper operation before your presentation. Ensure that your computer is equipped with the proper monitor connector (mini D-sub 15 pins). If your computer does not have it, please bring an appropriate converter with you. Be sure to bring an AC adaptor with you. Japanese standard AC voltage is 100V 50 Hz. The secretariat is not responsible for any projection troubles caused by computer technical difficulties. Your computer can be placed on a podium for your presentation. You should connect your computer to the projector during the previous presentation. Please pick up your computer at the podium after your presentation. Slide and overhead projectors will not be available.

## **<Poster>**

The poster board surfaces measure W90cm X H210cm. A poster number card (15 cm x 10 cm) is displayed at the top left of the board. Each poster must have a label at the top that indicates the title of the paper, the name(s) of the author(s) and their affiliation(s). Authors are required to explain their poster for at least 1 hour in total, during the designated poster session time and breaks before and after it. We recommend showing the explanation period in the poster.

Most of poster presenters have been assigned to give a 3-min oral presentation about his/her poster at 16:00-17:00 on May 21. Please prepare PowerPoint presentations for this, with a consideration of presenter exchange time. The order of 3-min oral presentations follows the poster presentation program.

## **Others**

### **<Registration>**

Registration is necessary to make oral and poster presentations. Please make meeting registration as soon as possible at the following Web site.

Log-in: [https://secure.jtbcom.co.jp/jpgu\\_e/](https://secure.jtbcom.co.jp/jpgu_e/)  
[http://www.jpgu.org/meeting\\_e/registration.html](http://www.jpgu.org/meeting_e/registration.html)

•Pre-registration deadline with discount rate is May 7, 2012, Monday 17:00 JST  
You can confirm your payment status of your abstract submission on the following website.

[https://secure.jtbcom.co.jp/jpgu\\_e/](https://secure.jtbcom.co.jp/jpgu_e/)

\* Log-in => System Menu => Settlement Status Confirmation>

### **<Request from conveners>**

To keep or improve quality of our "Atmospheric Chemistry" session, your feedback is essentially important. Please give us your comments by returning the questionnaire during the "Atmospheric Chemistry" session.

## **Conveners**

#JSAC Steering committee, Program committee

Hitoshi Irie, Takuya Saito, Yasuko Kasai, Makoto Koike, and Sachiko Hayashida

#JSAC Steering committee, JpGU Program committee

Hitoshi Irie and Takuya Saito

Main session schedule table with columns for dates (5月20日, 5月21日, 5月22日, 5月23日, 5月24日, 5月25日) and rows for sessions (101A-304). Includes a '国際会議' section at the bottom left.

Summary table for the 'コンベンションホール' (Convention Hall) section, listing session times (e.g., 10:45-12:15, 13:45-15:15) and corresponding session codes.

# 日本地球惑星連合2012年大会 大気化学セッション プログラム (口頭)

5月21日 (月) 15:30-17:00

エアロゾルと越境汚染 座長：齊藤拓也			
演題番号	開始時刻	終了時刻	タイトル・著者
AAS21-01	15:30	15:45	20年間の航空機観測に見る東シナ海上空の大気汚染のトレンド 畠山史郎*, 池田圭輔, 高見昭憲, 村野健太郎, 坂東博
AAS21-02	15:45	16:00	越境輸送および都市大気エアロゾルの化学組成分析 三好猛雄*, 高見昭憲, 伊礼聡, 佐藤圭, 下野彰夫, 足田利秀, 原圭一郎, 林政彦, 兼保直樹, 畠山史郎
(ポスター3分口頭講演) 座長：入江仁士			
	16:00	17:00	(順番はポスター発表のプログラムに従います)

5月22日 (火) 09:00-17:00

エアロゾルと健康・気候・モデリング 座長：持田陸宏			
演題番号	開始時刻	終了時刻	タイトル・著者
AAS21-03 (招待講演)	9:00	9:15	エアロゾル粒子の健康影響：疫学研究による影響の有無およびその大きさの推定 上田佳代*, 新田裕史
AAS21-04 (招待講演)	9:15	9:30	エアロゾルからみた大気化学と気候変動 竹村俊彦*
AAS21-05	9:30	9:45	地球温暖化に対する海洋生態系によるフィードバックの将来予測に関わる潜在的な不確 実性 伊藤彰記*, Jasper F. Kok, Yan Feng, Joyce E. Penner
AAS21-06	9:45	10:00	ブラックカーボンの混合状態を表現した2次元ビンスキームの開発：3次元化学輸送モデ ルへの導入と観測による検証 松井仁志*, 小池真, 近藤豊, 茂木信宏
エアロゾル光学特性 座長：竹谷文一			
AAS21-07	10:00	10:15	トルエンの光酸化反応により生成する二次有機エアロゾルの光吸収特性：波長および NO <sub>x</sub> 濃度依存性 中山智喜*, 佐藤圭, 松見豊, 今村隆史, 山崎明宏, 内山明博
AAS21-08	10:15	10:30	ディーゼル車排ガス中に含まれる浮遊粒子の光学特性 郭雪松*, 中山智喜, 松見豊, 山田裕之, 戸野倉賢一, 猪俣敏
	10:30	10:45	(休憩)

エアロゾル物理化学特性 座長：中山智喜			
演題番号	開始時刻	終了時刻	タイトル・著者
AAS21-09	10:45	11:00	航空機搭載CVIを用いた大気エアロゾルおよび雲残渣粒子の直接観測 松木篤*, Alfons Schwarzenboeck, Boris Quennehen, Karine Deboudt, Olivier Jourdan, Guy Febvre, Christophe Goubeyre, Jean-Francois Gayet
AAS21-10	11:00	11:15	異なる吸湿性を持つエアロゾル粒子の質量分析：名古屋の大気における観測 持田陸宏*, 瀬戸口義貴
AAS21-11	11:15	11:30	異なる温度条件における都市エアロゾルの化学組成・粒径分布の解析 瀬戸口義貴*, 川名華織, 小川修平, 中山智喜, 池田裕香, 澤田祐希, 松見豊, 持 田陸宏
AAS21-12	11:30	11:45	都市大気中の海塩エアロゾル粒子の形態・組成変化について 足立光司*, 五十嵐康人, Peter R. Buseck
AAS21-13	11:45	12:00	富士山斜面の雲の上・下で捕集したエアロゾル粒子 上田紗也子*, 三浦和彦
AAS21-14	12:00	12:15	夏季南極対流圏中のエアロゾル粒子の混合状態と鉛直分布：ANTSYO-II (AGAMES)観測 原圭一郎*, 平沢尚彦, 山内恭, 和田誠, Andreas Herber

	12:15	12:45	大気化学研究会集会(※)
	12:45	13:45	(昼食)

(※)以前の大气化学研究会総会の名称を変更したもの

**エアロゾル観測手法 座長：松井仁志**

演題番号	開始時刻	終了時刻	タイトル・著者
AAS21-15	13:45	14:00	質量分析計を用いた実時間型エアロゾル組成計測法の開発 竹川暢之*, 宮川拓真, 武田直希, 武居正彦, 平山紀友
AAS21-16	14:00	14:15	蛍光法を用いた大気エアロゾル粒子の測定 竹谷文一*, 金谷有剛
AAS21-17	14:15	14:30	NIESライダーネットワークデータを用いたエアロゾル・雲解析 西澤智明*, 杉本伸夫, 松井一郎, 清水厚

**微量気体 座長：野口克行**

AAS21-18	14:30	14:45	対流圏オゾン光化学へのエアロゾル影響：中国Rudongにおけるオゾン等光解離速度定数(J値)のエアロゾルによる低下 金谷有剛*, Xiaole Pan, 入江仁士, 竹谷文一, 高島久洋, Zifa Wang
AAS21-19	14:45	15:00	東南アジアにおける越境汚染とコールドサーージ現象 王平, 遠藤晶哉, 鈴木崇央, 北和之*, 荻野慎也, 米村正一郎, Boossarasiri Thana
AAS21-20	15:00	15:15	硝酸の三酸素同位体組成を指標に用いたNO <sub>x</sub> の光化学反応過程解析 大山拓也*, 角皆潤, 小松大祐, 中川書子, 野口泉, 山口高志, 佐藤啓市, 大泉毅, 坪井一寛, 木戸瑞佳

	15:15	15:30	(休憩)
--	-------	-------	------

**微量気体 座長：野口克行**

演題番号	開始時刻	終了時刻	タイトル・著者
AAS21-21	15:30	15:45	SMILES観測による ClO + HO <sub>2</sub> → HOCl + O <sub>2</sub> の反応速度定数の導出 栗林康太*, 佐川英夫, 佐藤知紘, 笠井康子

**GHGs 座長：石戸谷重之**

AAS21-22	15:45	16:00	C-130H輸送機で観測された自由対流圏中における温室効果ガスの季節変動 丹羽洋介*, 坪井一寛, 松枝秀和, 澤庸介, 中村雅道, 久保池大輔, 齊藤和幸, 大森英裕, 岩坪昇平, 西秀紘, 花宮義和, 辻健太郎, 馬場祐介, 町田敏暢
AAS21-23	16:00	16:15	カラムCO <sub>2</sub> 、CH <sub>4</sub> 、N <sub>2</sub> O濃度の緯度・時間変化 齊藤龍*, Prabir Patra, 石島健太郎
AAS21-24	16:15	16:30	波照間における放射性炭素同位体比観測 寺尾有希夫*, 向井人史, 遠嶋康徳, Shamil Maksyutov
AAS21-25	16:30	16:45	スバルパール諸島ニーオルスンおよび南極昭和基地における大気中酸素濃度から推定された陸上生物圏と海洋のCO <sub>2</sub> 吸収の年々変動 石戸谷重之*, 森本真司, 青木周司, 田口彰一, 後藤大輔, 中澤高清
AAS21-26	16:45	17:00	気球CO <sub>2</sub> ゾンデを用いたCO <sub>2</sub> 高度分布計測結果と航空機による計測結果との比較 大内麻衣*, 松見豊, 中山智喜, 町田敏暢, 松枝秀和, 澤庸介, 田中智章, 森野勇, 内野修

# 日本地球惑星連合2012年大会 大気化学セッション プログラム (ポスター)

5月21日(月), 22日(火) 両日共に 17:15-18:30 [コアタイム] ※9:00-19:00まで掲示可

成層圏	
演題番号	タイトル・著者
AAS21-P01 <small>ポスター3分概要説明無</small>	FTIRを用いて観測された陸別における1995-2009年のHClおよびHFの変動 長浜芳寛*, 中島英彰, 長濱智生
AAS21-P02	POAM II/IIIとILASで観測された1994-2000年の冬期北極成層圏におけるオゾン破壊速度とPSC発生頻度の関係 寺尾有希夫*, 杉田考史, 笹野泰弘
衛星観測	
AAS21-P03	静止軌道およびISSによる対流圏NO <sub>2</sub> 観測における地表面BRDFの影響 野口克行*, Andreas Richter, John P. Burrows, 入江仁士, 北和之
AAS21-P04	共通の基準によるSCIAMACHY, OMI, GOME-2の対流圏NO <sub>2</sub> データのバイアス評価 入江仁士*, Folkert Boersma, 金谷有剛, 高島久洋, Xiaole Pan, Zifa Wang
エアロゾル	
AAS21-P05 <small>ポスター3分概要説明無</small>	係留気球を用いて接地層における微量成分の鉛直分布特性をトレースする試み 高橋けんし*, 矢吹正教, 宮脇力, 松田真, 津田敏隆, 中山智喜, 青木一真, 林泰一, 塩原匡貴
AAS21-P06	夏季名古屋におけるエアロゾル密度分布測定: 化学成分との関係 澤田祐希*, 中山智喜, 瀬戸口義貴, 池田裕香, 川名華織, 持田陸宏, 松見豊
AAS21-P07	名古屋におけるエアロゾル光吸収特性の観測: レンズ効果および有機エアロゾルの寄与 池田裕香*, 中山智喜, 瀬戸口義貴, 澤田祐希, 川名華織, 持田陸宏, 松見豊
AAS21-P08	夏季の名古屋において観測されたエアロゾル粒子の吸湿性と低吸湿性エアロゾル粒子のCCN活性 小川修平*, 瀬戸口義貴, 川名華織, 中山智喜, 池田裕香, 澤田祐希, 松見豊, 持田陸宏
AAS21-P09	埼玉県所沢市で採取したエアロゾル中の希土類元素パターンの特徴 本多将俊*
AAS21-P10	New particle formation and growth observed at a forest site in Wakayama, Japan Yuemei Han*, Yoko Iwamoto, Tomoki Nakayama, Kimitaka Kawamura, Tareq Hussein, Michihiro Mochida
AAS21-P11	富士山山頂における雲凝結核濃度のClosure Study 長谷川朋子*, 三浦和彦
AAS21-P12	エアロゾル中のシュウ酸の金属錯体生成とその吸湿性への影響 高橋嘉夫*, 古川丈真
AAS21-P13	AMSとLC/MSによる芳香族炭化水素からのSOAの分析: 化学構造とエイジング速度 佐藤圭*, 高見昭憲, 疋田利秀, 下野彰夫, 今村隆史
AAS21-P14	タイのピマイにおける大気エアロゾル----西アジアから長距離輸送される雨期の土壌粒子---- 鶴田治雄*, 及川栄治, 井上豊志郎, Jinchula Chotpitayasunon, Boossarasiri Thana, 高村民雄, 竹村俊彦, 五藤大輔, 杉本伸夫, 須藤重人, 米村正一郎, 世良耕一郎, 早坂忠裕, 中島映至
長寿命種	
AAS21-P15	西日本の離島における大気中水銀濃度の測定 三宅隆之*, 永淵修, 川上智規, 新垣雄光, 高嶋敦史, 手塚賢至
AAS21-P16	フーリエ変換型分光計で観測されたつくば上空メタン高度分布の変動 村田功*, 中島英彰, 森野勇
AAS21-P17 <small>ポスター3分概要説明無</small>	光スペクトラムアナライザを使った大気中の二酸化炭素測定法の高精度化 草苺聡*, 長濱智生, 荻野竜樹
AAS21-P18	波長スキャンキャピティリングダウン分光分析計を用いたCO <sub>2</sub> ・CH <sub>4</sub> 計測における圧力広がり効果の影響 奈良英樹*, 谷本浩志, 勝又啓一, 遠嶋康徳, クリス・レーラ, 野尻幸宏, 向井人史
AAS21-P19	仙台市郊外および三陸沖江島における大気中O <sub>2</sub> /N <sub>2</sub> 比の連続観測 後藤大輔*, 森本真司, 青木周司, 中澤高清
AAS21-P20	落石岬で観測されるAPOの季節変動と西部北太平洋における海洋一次生産との関係 遠嶋康徳*, 山岸洋明, 向井人史, 町田敏暢, 峰島知芳, 中岡慎一郎, 安中さやか, 野尻幸宏
AAS21-P21	地上フーリエ変換型赤外分光計観測によるポーカークラットメタンの高度プロファイルとその変動 丸野浩市*, 村田功, 笠井康子, 香川晶子, 笠羽康正
AAS21-P22	近赤外半導体レーザーを用いたCO <sub>2</sub> 安定酸素同位体計測装置の開発 児島涼太*, 田中光太郎, 戸野倉賢一